

★印は、特別枠事業

平成27年度の主な事業を紹介します

1. 人と自然が共生する 「しぜん感動・創造都市」



中央駐車場拡張事業	3,462万円
ユネスコエコパーク登録推進事業	350万円
道路維持補修事業	3億3,191万円
道路整備事業	7億4,323万円
都市公園環境整備事業	290万円

2. 豊かな心をはぐくむ 「こころ感動・創造都市」



校務用パソコン導入事業	1,431万円
中学校コンピュータ教室用パソコン更新事業	897万円
学校施設耐震改修事業	1億3,439万円
三本木中学校建設事業（基本設計など）	6,648万円

3. 安心・安全を支える 「くらし感動・創造都市」



★健康長寿応援事業	198万円
健康とわだポイントラリーやウォーキング大会などを実施し、市民の主体的な健康づくりを促進します。	
セーフコミュニティ推進事業	1,545万円
施設型給付・地域型保育給付事業	24億9,194万円
児童虐待防止対策支援事業	466万円
避難施設再生可能エネルギー等導入事業	1億7,735万円

4. にぎわいと活力あふれる 「しごと感動・創造都市」



★主食用米再生産緊急支援事業	5,357万円
主食用米の種子購入等生産費に対する助成を行い、農家の再生産に向けた意欲向上を図ります。	
★農業用機械等導入支援事業	2,256万円
国庫補助の対象とならない農家の農業用機械の導入などを支援します。	

★おいしい十和田野菜の健康な土づくり事業 313万円
十和田市産野菜の品質、収量の向上及び施肥コスト削減を図るため、健康な土づくりを促進します。

★地域おこし協力隊事業 900万円
地域おこし協力隊を活用し、十和田湖畔地区や焼山地区の観光再生や地域活性化を図ります。

第10回全国B-1グランプリin十和田事業 9,000万円
焼山地区活性化事業 4,697万円

5. いきいきと活躍できる 「しみん感動・創造都市」



★移住・交流事業 2,006万円
少子高齢化や人口減少対策として、空き家バンク、移住お試しツアーなど各種事業を行います。

★元気な十和田市づくり市民活動支援事業 2,000万円
市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域で活動する団体を支援します。

ふるさと納税制度の拡充 44万円
新庁舎建設事業（基本設計など） 3,295万円

“まち・ひと・しごと創生”に取り組みます

十和田市総合戦略会議委員を募集します

図政策財政課地方創生戦略係 ☎⑤6712

市では人口減少問題や地域活性化などの課題に取り組むため、「十和田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。市民の皆さまの幅広い意見を反映させた総合戦略を策定するために設置する「十和田市総合戦略会議」の委員の一部を募集します。

応募資格

- ▶平成27年4月1日現在で20歳以上の市内にお住まいのかた
- ▶人口減少対策・地方創生に関心があり平日の日中に開催予定の会議（5回程度）に出席することができるかた

募集人員 4人程度（うち2人は女性を優先）
任期 委嘱の日から平成28年3月31日(木)まで
謝礼 日額6千円（所得税控除前）

応募方法 応募理由と人口減少対策・地方創生についての思いなどを400字程度にまとめ、①住所②氏名③年齢④性別⑤電話番号を明記し（任意様式）、郵便、電子メール、FAXまたは持参により提出してください。

応募締切 5月15日(金) 午後5時必着
結果通知 書面にて結果を通知します
提出先 政策財政課地方創生戦略係 FAX④9616
メールアドレス seisakuzaisei@city.towada.lg.jp

◆歳入◆
市税は前年度と大きく変わらず、地方交付税は、前年度比0.6%増の101億5,977万円を見込んでいます。

◆歳出◆
子ども・子育て支援新制度の施行などによる社会保障経費の増に伴い、民生費で5.3%増の106億1,507万円を見込んでいます。

また、市民交流プラザの建設終了に伴い、総務費で37.9%の減、農林関係の各種施策により農林水産業費で12.7%の増を見込んでいます。

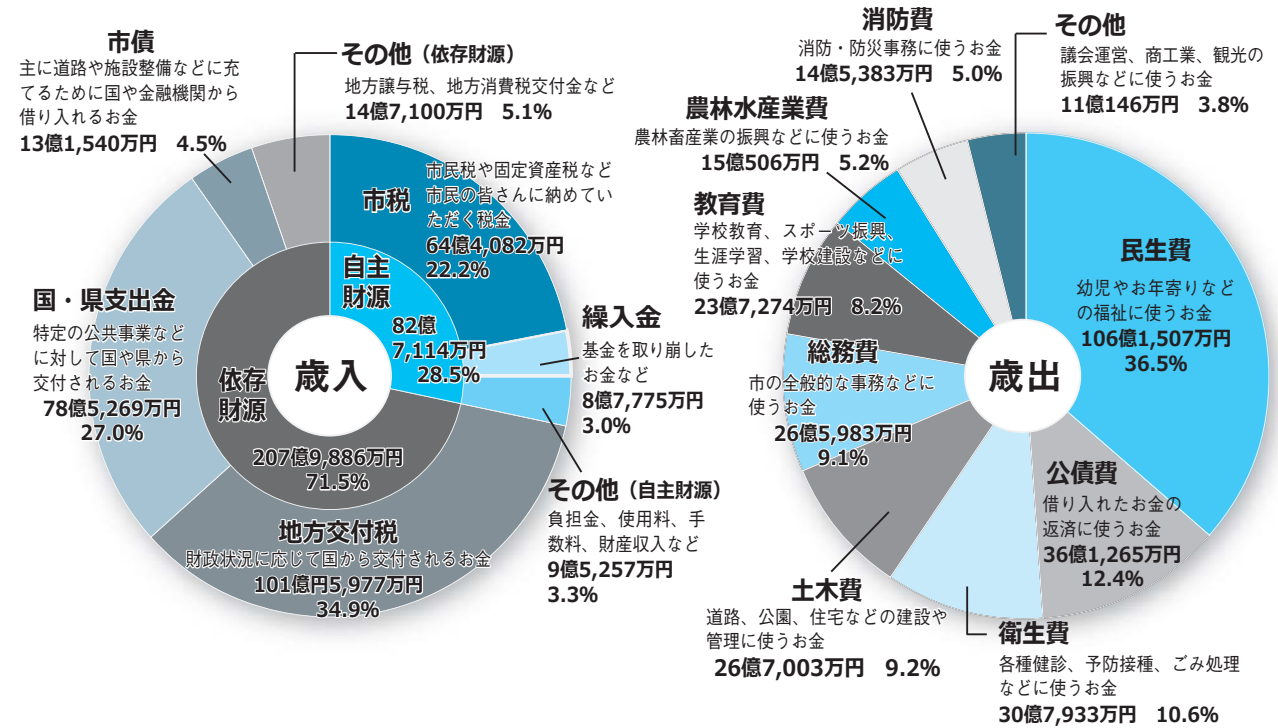
図政策財政課財政係 ☎⑤6713

平成27年度の一般会計当初予算は、前年度予算に比べ6億円少ない290億7,000万円となりました。

当初予算の編成に当たっては、長引く景気低迷や病院事業への継続的な支援などによる厳しい財政状況の中、引き続き将来を見据え、基金に頼らない持続可能な財政基盤の構築を図るため、事務事業の選択と集中を推し進めることを基本とし、人口減少対策や公共施設の老朽化対策などの行政課題への取組に重点を置いたものとなっています。

また、政策の実現を着実に進めるために特別枠を設け、特色ある事業を展開していきます。

■一般会計当初予算290億7,000万円の内訳（1万円未満は四捨五入）

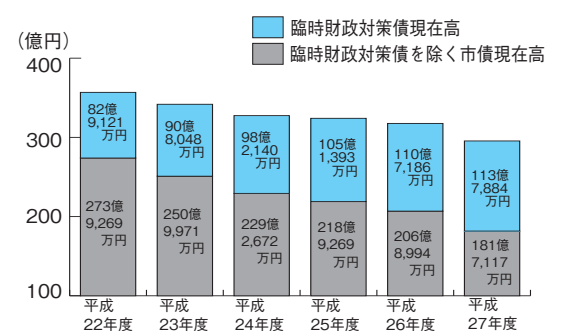


■各会計予算の前年度比較・各会計への繰出金の状況

会計名	予算額	前年度との比較	増減率	一般会計からの繰出金
一般会計	290億7,000万円	△6億円	△2.0%	-
国民健康保険事業	82億8,468万円	9億1,816万円	12.5%	5億2,514万円
地方卸売市場事業	2,615万円	283万円	12.1%	233万円
後期高齢者医療	5億7,800万円	929万円	1.6%	1億9,978万円
介護保険事業	67億7,488万円	△9,165万円	△1.3%	9億9,441万円
温泉事業	2,603万円	1万円	0.1%	-
水道事業	32億4,407万円	△4億9,729万円	△13.3%	1億4,028万円
下水道事業	49億5,205万円	△9,959万円	△2.0%	12億1,902万円
病院事業	103億6,627万円	△28億239万円	△21.3%	14億9,410万円

*企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

■一般会計当初予算での年度別市債残高見込み額の推移



*臨時財政対策債とは、財源不足を補つるため借り入れする市債で、償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源といえます。

用語解説

一般会計…教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。
特別会計…特定の事業を行う場合や保険料など特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。

企業会計…企業的性格をもった事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。
自主財源…市税、分担金及び負担金、使用料および手数料など市が自主的に確保できる収入です。
依存財源…地方交付税、国庫支出金、県支出金など国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりする収入です。